

英雄

# Handsome

New Year 2026 No.422

卷頭  
記事

## 年頭のごあいさつ

12月例会開催／12月例会を終えて／限界突破！忘年会

令和7年度鳥取県西部地区青年経済団体連絡協議会開催

特集「とっとりーだー」TEAMアーサー

卒会予定者より／新店オープン／未来の英雄！誕生／編集後記

◆発行人:鳥取県西部中小企業青年中央会会長 住 真介 ◆編集責任者:担当副会長 仲佐 大志 ◆制作・編集:発信・地域の力委員会 委員長 川口 健司

## 年頭のごあいさつ

鳥取県西部中小企業青年中央会  
第51期 会長 住 真介



新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、OB会員の皆様、関係機関、会員所属企業、そしてご家族の皆様におかれましては、当会の活動に多大なるご支援とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。また現役会員の皆様には、第51期のスタートとなった7月以降、各事業に真摯に向き合い、互いに学び合いながら歩んでいただいたことに感謝申し上げます。

本年度はスローガンを「英雄」、活動テーマを「全身全靈、限界突破」と掲げ、会員それぞれが自身の立場で可能性と向き合い、学びと実践を通じて成長す

る1年とするべく活動してまいりました。

7月の通常総会・卒会式を皮切りに、8月の納涼例会、9月の米子市長・伊木隆司氏による講演、10月のコミュニケーションワークショップ、11月の県中央会「職業クロスオーバーナイト」と、多様な学びの機会を重ねてきました。12月例会では、町家再生や観光ビジネスの関係を取り上げ、地域の現場を知る講師の皆様から未来への示唆を得る時間となり、例会後の忘年懇親会では一年の労をねぎらい、次年度への結束を確かめる機会となりました。

これらの事業の根底にあるのは、創立以来、本会が大切にしてきた「学び」と「実践」です。青年中央会は、単に地域のために活動する団体ではなく、異業種の仲間とともに考え、挑戦し、互いに刺激を受け合い、一人ひとりが成長していく場です。その歩みの先に地域の未来が育まれると信じています。

「英雄」とは、自ら学び、行動し、昨日より一歩でも前に進もうとする姿勢を持つ人を指します。当会の活動の中で、その姿を体現する仲間が着実に増えていることに、大きな手応えを感じています。

下期も、立場や役割の違いを越えて学びと実践を積み重ね、互いの成長が連鎖する一年としていきたいと考えております。本年が皆様にとって健やかで実り多い一年となりますよう心より祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

# 12月例会開催

## 眠れる地域資源を呼び覚ます—観光とビジネスの融合



令和7年12月15日、国際ファミリープラザにて12月例会が開催されました。

冒頭の住会長挨拶では、12月の各委員会懇親会に参加し活動の様子を知ることができたこと、中央会活動はすぐに成果が出るものではなく、負担も感じるかもしれないが、組織的に改善を進めていることが述べられました。改めて活動の目的を考え、前向きに取り組んではほしいと締めくされました。

続いて10月入会の藤山会員へのバッヂ授与が行われ、今後に向けた抱負を力強く語られました。その後第44回全日本トライアスロン皆生大会実行委員長任命式が行われ、安達監事が二期目の就任をされました。

本例会では「眠れる地域資源を呼び覚ます—観光とビジネスの融合」をテーマに、(株)ジェイキヤスエアウェイズ取締役の吉田守一氏・長尾昌明氏、一般社団法人米子観光まちづくり公社理事長の川越博行氏を講師に迎え、トークディスカッションを行いました。

2026年にも就航予定の米子・富山～関空を結ぶ新航空路線を見据え、新たな観光客の誘致と地域の魅力発信について意見が交わされました。

山陰の魅力は「人」にあり、点在する観光資源を結び、ストーリー性のある周遊型観光が重要であること、またビジネスチャンス創出には「あるもの探し」を行い、小さな成功体験を積み重ね、外部の視点を取り入れることが大切であると語られました。

新航空路線を契機に、山陰の「人」と「あるもの」を生かした観光とビジネスの可能性を改めて考える有意義な例会となりました。  
(記事:石井)



## 12月例会を終えて

発信・地域の力委員会 委員長 川口 慎司 (株)葬仙

12月例会にご参加いただきました皆様誠にありがとうございました。

地域資源をテーマとして3名の講師によるトークディスカッションを開催させていただきました。本例会を通じて、地元愛・郷土愛をより一層高めていただき、地域資源を活用して新しいビジネスチャンスへ繋げていただけますと幸いです。



例会後は会場をパンケット&ウェディング シュシュに移し、「限界突破忘年会」が開催されました。懐かしの曲を使ったイントロクイズで歌いながら、一年を労い、参加者全員で盛り上がる楽しいひとときとなりました。最後は正副委員長と特命担当理事による「モモクロ」で締めくくり、残り半期への期待がますます高まるメンバーの熱いパフォーマンスとなりました。



## 令和7年度 鳥取県西部地区青年経済団体連絡協議会 開催

政治行政委員会 副委員長 田中 久晶 (株)工房AZ 工事部主任

12月4日(木)、今年も青経連事業が開催されました。

米子産業体育館でのレクリエーションでは、団体混合チームでドッヂビーを行い、他団体の方々と協力しながら親睦を深めました。スポーツを通して新たな一面に触れ、勝利を目指してチームの一體感が高まったと感じます。

続いてKASANE YONAGOにて開催された懇親会では、各団体の紹介やドッヂビーの表彰式が行われました。レクリエーションと同じチームごとにテーブルを囲み、さらに交流を深めることができました。

それぞれの団体の異なる雰囲気や考え方、企画の進め方に触れ、新入会員の頃のような新鮮を感じました。今回の交流で得た刺激を生かし、今後も新たな気持ちで中央会活動に取り組んでいきます!



# 特集【とっとりーだー】 企画・取材:発信地域の力委員会 TEAMアーサー

とっとりーだーでは、地域で活躍している若手経営者の株式会社 ACEON の石橋代表取締役にお話を伺いました。

ACEON では選挙カーレンタル・広告宣伝車を専門的に展開されています。事業を始めるきっかけは、お父様の会社でレンタカー事業をしていたが、約 10 年前にお父様の会社に「選挙カーを作ってくれないか」との依頼があったことでした。石橋様はお父様の会社で選挙カーのノウハウを学び、令和 4 年 9 月に株式会社 ACEON を起業をされました。

起業された頃は選挙や政治のことを知らないお客様に対応ができないことから、選挙や政治についてとても勉強されたとのことです。

ACEON は米子市、千葉県、宮城県に拠点があり、3 拠点から全国に選挙カーの納車・回収をしています。また、選挙カーにトラブルがあった際は、現地に赴いて修理もしています。

選挙は春と秋に実施されることが多い、逆に 8 月と 12 月は少ないとのことです。選挙カーは選挙開始の 1 か月前ほどから予約が入ることが多いとのこと。平均すると選挙は毎月 20 ~ 30 ほど行われており、繁忙期になるとお父様の会社の選挙カーを含め、所有している約 100 台以上の選挙カーを全てレンタルすることもあり、多忙を極めることです。

ACEON では、同業他社では選挙カーのレンタルのみで、選挙カーに取り付ける看板作成や音響関係は別の業者が行うことが多い中、看板のデザインから作成、音響、照明も全て自社で行っています。さらに、公費請求書に関する書類作成のお手伝いもしています。最近では、選挙に必要な WEB ページ・選挙ポスター・選挙チラシなどの作成も行うサービスを開始され、自社のみで選挙全般のサポートをできることが強みになります。また、自社で看板製作も行えることから、毎年新しい看板を作成するなどどんどん新しいことに挑戦できることも同業他社にはない強みの一つのことです。

今までは登壇仕様の選挙カーは大型タイプしかなかったが、ACEON では、軽自動車やコンパクトカーでも登壇仕様のレンタカーを所持しており、同業他社では 2 車種ぐらいしか選挙カーを所持していないところ、全国各地の選挙事情に対応するため



に登壇仕様の選挙カーを軽自動車タイプから大型タイプまで約 10 車種揃えており、車のクオリティなら同業他社には絶対に負けないとのことです。

最近では、選挙カーのレンタル以外にも広告宣伝車の需要も多くあり、各種イベントや映画の告知の宣伝でも ACEON の車両が多く使用されています。

ACEON では、自社内で様々なことを行っておりますが、このようなことができるのも協力してくれる業者や学生時代の友人が色々と助けてくれるからとのことで、人の縁をとても大事にしていました。

石橋様は、全国各地を回ることで各地の空気感を肌で感じることができ、政治家と知り合いになる機会も多く、政治家の方から仕事を紹介していただくこともあります。仕事の幅が広がることがこの仕事をしていての楽しみとのことです。

全国各地を訪れるため、空港が近い米子市はとても便利で、米子市のように海・川・山も近くにある場所は全国にも見当たらないので、米子市はとても魅力のある街とのことです。

最後に、これから起業を考えている、または、起業をした若い世代に対して、仕事のことをずっと考えて努力していくことが起業にも経営にも必要で、さらにお客さまと信頼関係を築いていくこともとても重要な熱いメッセージをいただきました。

選挙カー・広告宣伝車に興味のある方は、こちらの HP をご確認願います。 <https://senkyocar-labo.com/>

(記事: TEAM アーサー 皆川)



## 卒会予定者より『全身全霊のその先へ』



平成 29 年 4 月（第 42 期）入会 青戸 和功（株）WAZM 代表取締役

入会してから本当にあつという間の 9 年でした。

右も左も分からぬまま入会した中央会。緊張しながら壇上に上がり、しどろもどろに自己紹介をしたこと今でも覚えています。

委員会やイベント活動、特にトライアスロンのボランティアは灼熱の中苦しい思いもしましたが、かつて持っていたイメージとは見方が変わり、かけがえのない経験をさせてもらいました。

会に参加している期間中は、とても貴重な経験が多くありました。入会したばかりの頃と比べると少しかもしれません成長できたのではないかと思います。

最後に、会員の皆様には大変お世話になりました。ご迷惑もおかげしました。これからの中会が益々盛り上がりしていくよう陰ながら応援しております。

在籍期間中に参加できた期間は短かったです、私が在籍した委員会の委員長、副委員長、委員会メンバーに色々助けてもらい、ありがとうございました。本当にありがとうございました。



平成 29 年 6 月（第 42 期）入会 中西 悠介（株）LABO 工事部次長

平成 29 年 6 月 1 日米子市公会堂にて「失礼いたします。株式会社 LABO の中西悠介です…」とジャケットのボタンを 2 個全留めで、42 期役員の皆様にガクブルで挨拶した事を思い出しながら原稿の作成をしています。

入会当初は右も左も分らない私に、物事のイロハを叩き込んでくれた諸先輩方には、時には愛の鞭等もございましたが、心より感謝を致しております。

約 9 年間という活動期間の中で、年度毎に様々な学びと楽しかった事や悔しかった事を沢山の仲間と分かち合う事ができ、一つひとつが大切な思い出となりました。議論する時も懇親を深める時も何事も全力で取り組む西部中小企業青年中央会！そんな会だからこそ、自分自身の成長に繋がってきたと感じています。

これからも時代の流れに沿って、臨機応変に様々な形式で活動していく中で、諸先輩方が言われている『野武士』の言葉を心に留めて活動を続けてほしいと願っております！

会の活動にやり残しがないといえば嘘になりますが、気持ちよく卒会したいと思います！

最後に中央会の入会を快くゴーサインを出した社長、会の諸先輩方、現役会員の皆様には感謝申し上げます。ありがとうございました！！



Cafe bal hare 米子市西町 90-3

上巣会員が新店舗「Cafe bal hare」をオープンされたと聞きました、さっそく食いしん坊二人組でお邪魔してきました。

場所はビストロスズキさんの跡地。店内はとてもおしゃれで、ゆったりと過ごせる素敵な空間でした。



おすすめのハンバーガー、クロワッサン、パンケーキを実食。

アボカド・サーモン・クリームチーズという、女性にはたまらないセンス抜群の組み合わせで大満足！パンケーキもふわふわで、思わず「もう一枚…」と言ってしまいそうに。

ローストビーフやパフェなど、ガッツリ楽しめるメニューも充実していましたよ！ぜひ皆さんも足を運んでみてください。（記事：武良）

上巣 拓也（MUSUBI ぐるーぶ（株） 代表取締役）

この度、旧ビストロスズキさんのオーナー鈴木さんとのご縁を頂戴しまして、跡地にて「Cafe bal hare」を OPEN させて頂きました。お店のコンセプトは「海外テイストのゆったりすごせるカフェ」ということで、ソファ席スペースもご準備しております。春にはペット可のテラス席も完成します。

島大病院や高島病院の近くもありますので、お見舞いの休憩やテイクアウトも対応しておりますので、差し入れ等でもご利用頂ければ幸いです。UberEats も対応しておりますので、是非ご利用下さい。



## ★ 未来の英雄！誕生 ★



狩野 智邦会員の第二子  
和玖（わく）くん

2025 年 7 月、第二子となる男児が誕生いたしました。授かった新しい命に、家族一同大きな喜びを感じております。長男である兄とともに互いを尊重し、健やかに成長することを願っております。今後も家庭と社業の両立を大切にしてまいりますので、引き続き皆さまよろしくお願ひいたします。

編集  
後記

2026 年が始まりました。今年の干支は「午（うま）」です。昨年は競走馬のドラマもありとても盛り上がりました。午は成長や成功・繁栄のシンボルでとても縁起がよいとされています。午年にあやかって今年は飛躍の年にしたいです。

（発信・地域の力委員会 皆川）